

## 2019年の奈良市人口の社会増減がプラスに！

本市の人口動態について、「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」(※1)では、2013年以降の奈良市の転入者数及び転出者数の総数は12,000～13,000人台で推移しており、社会増減数(転入者数－転出者数)は2015年の－828人を境に、改善傾向にありました。

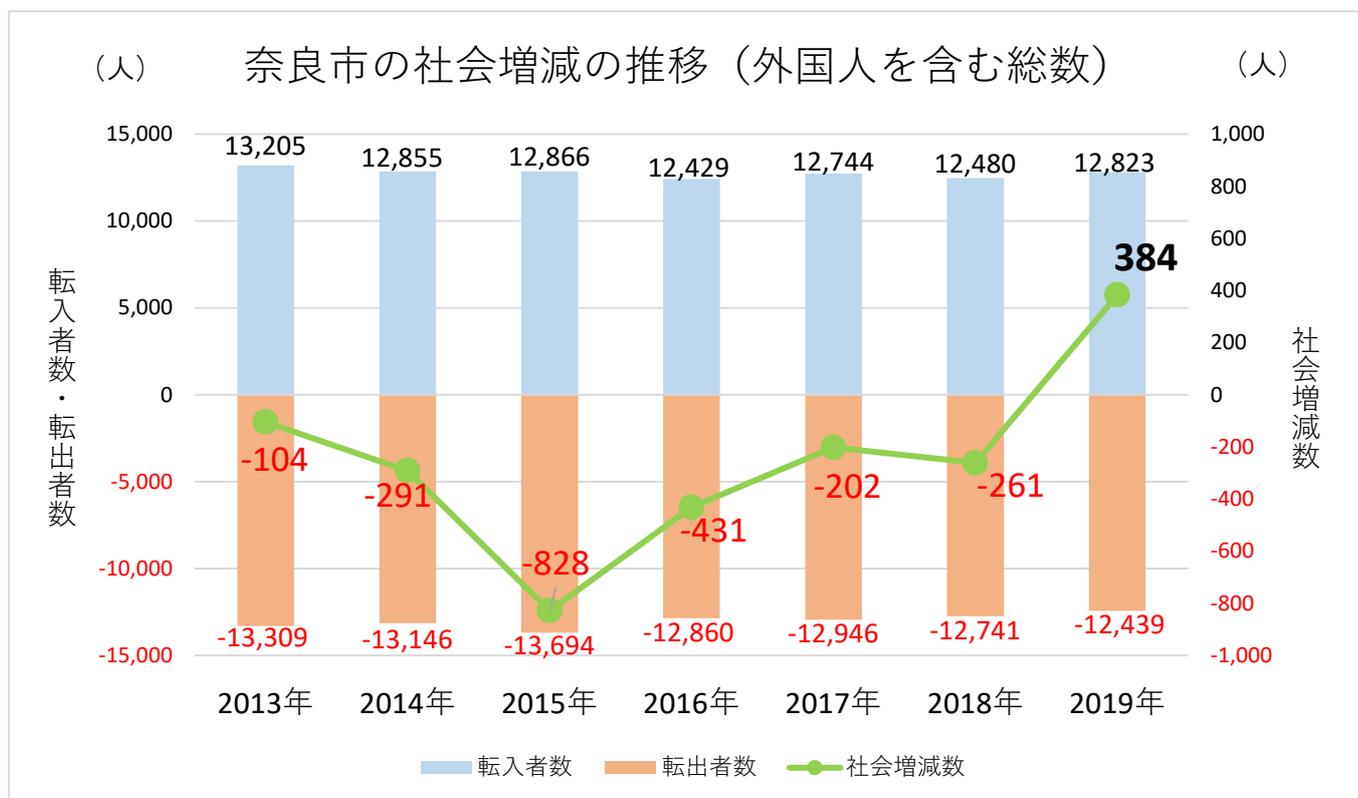
8月5日に「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査(令和2年1月1日現在)」が発表され、2019年の社会増減が+384人(前年比645人の改善)となり、同統計が外国人も調査対象とした2013年以降、社会増減が初めてプラスになりました。

※1 総務省発表の国内外の移動を含む転入出等による住民票への記載・消除について把握した調査

- 本市の2019年の社会増減が+384人(前年比645人の改善)となり、同統計が外国人も調査対象とした2013年以降、社会増減が初めてプラスになりました。内訳は日本人が2人、外国人が382人となっており、外国人が多くを占めています。
- 2018年から2019年にかけて、日本人、外国人ともに転入者数が増え転出者数が減少したため、全体として社会増減が改善しています。

## 【奈良市の社会増減の推移（外国人を含む総数）】

出典：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査



※転入出者数には職権による記載・消除等を含む

## 【社会増減の内訳】

		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	対前年増減数 (2018年→2019年)
総数	転入者数	13,205	12,855	12,866	12,429	12,744	12,480	12,823	343
	転出者数	13,309	13,146	13,694	12,860	12,946	12,741	12,439	-302
	社会増減数	-104	-291	-828	-431	-202	-261	384	645
日本人のみ	転入者数	12,505	12,037	12,013	11,524	11,768	11,335	11,559	224
	転出者数	12,549	12,340	12,880	12,051	12,119	11,804	11,557	-247
	社会増減数	-44	-303	-867	-527	-351	-469	2	471
外国人のみ	転入者数	700	818	853	905	976	1,145	1,264	119
	転出者数	760	806	814	809	827	937	882	-55
	社会増減数	-60	12	39	96	149	208	382	174

出典：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査

※転入出者数には職権による記載・消除等を含む

## 《参考資料》

### 【2012年度以前の社会増減の推移（日本人のみ）】

2012年度以前の社会増減の状況をみると、2000年度の547人のプラスからその後減少に転じ、2004年度に-1,621人まで落ち込んだ後、2010年度の回復を経て再び減少しています。

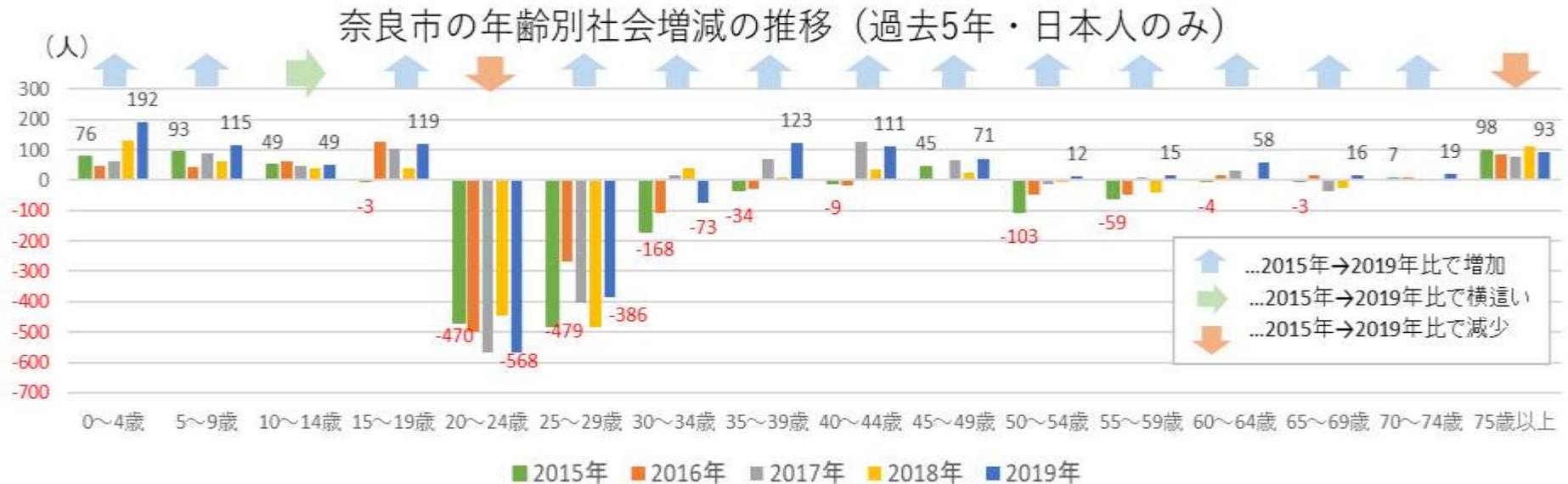
出典：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査



※転入出者数には職権による記載・消除等を含む  
 ※数値は年度（4/1～翌3/31の間）の合計値

**【過去5年間の年齢別社会増減の推移（日本人のみ）】**

年齢別の社会増減について2015年と2019年で比較すると、20～24歳、75歳以上を除き他の年齢階級では改善傾向にあります。最も改善した年齢階級は35～39歳で157人（-34人から+123人へ改善）の増加となっています。



出典：住民基本台帳人口移動報告

**【20～24歳の地域ブロック別の転入出の状況（日本人のみ）】**

社会減が続いている20～24歳の転入者数・転出者数をみると、過去5年でいずれも近畿、東京圏、中部が上位を占めています。2019年の転出者数は、近畿が1,071人（転出者数全体の約52%）、東京圏が495人（転出者数全体の約24%）となっており、特に東京圏への転出が年々増加しています。



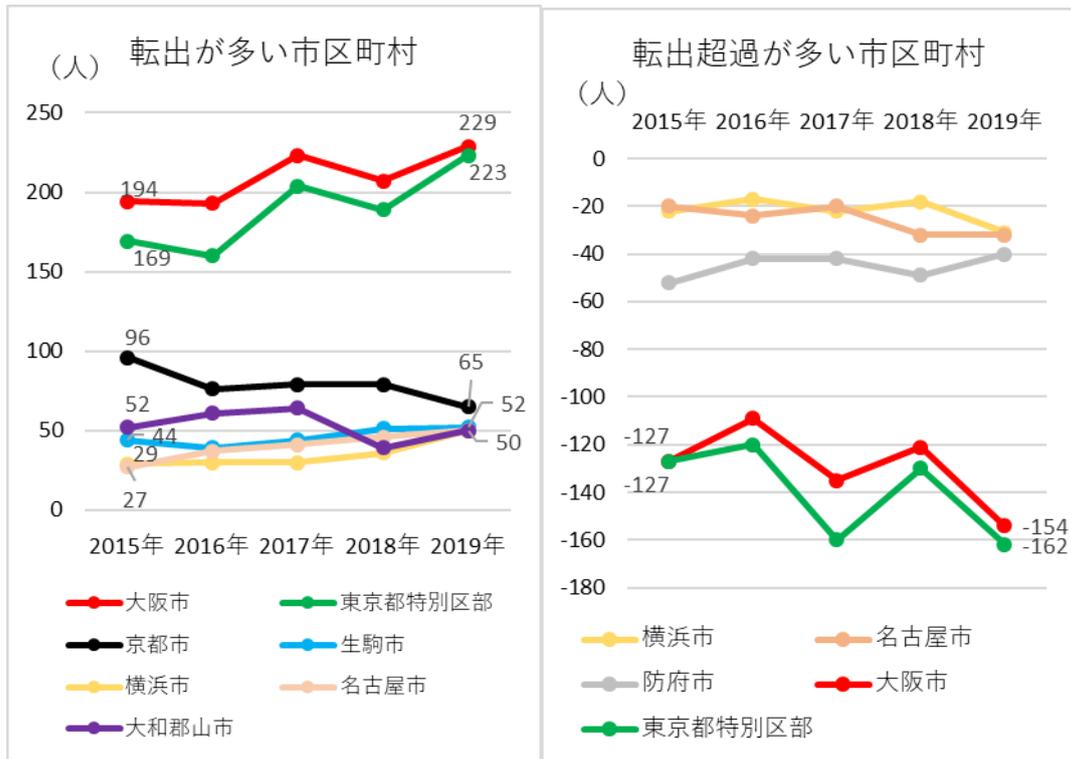
出典：内閣官房まち・ひと・しごと創生本部提供資料

※近畿は三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

※東京圏は埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

**【20～24 歳の転出先上位の市区町村（日本人のみ）】**

20～24 歳の市区町村別の転出先については、過去 5 年間とも大阪市、東京都特別区部が上位となっており、転出超過（転出が転入を上回り社会増減がマイナスとなった状態。転入者数－転出者で表される。）が上位の市区町村別でも同様の傾向にあります。



出典：内閣官房まち・ひと・しごと創生本部提供資料

※東京都特別区部は 23 区の合計値

## 【移住に関する資料請求・オンライン移住相談窓口について】担当：秘書広報課

移住に関しての資料請求は、今年137件（8月24日現在）で、昨年の年間実績76件を大きく上回り、4～7月では昨年対比で約3.6倍となっています。（今年97件/昨年27件）  
 また、6月8日から開設した「オンライン移住相談窓口」は、8月24日までに14件対応しています。（7月末までの期間限定の予定を12月末まで延長して実施）  
 土日祝での実施ニーズを受けて9月12日（土）13時から「奈良市オンライン移住相談会」を実施します。

【月別 移住資料請求件数（資料請求+オンライン移住相談）】（8月24日現在）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和2年	8	8	12	33	12	17	35	12					137
令和元年	4	9	6	5	7	11	4	6	8	3	9	4	76
平成30年	3	5	2	4	7	2	2	1	8	6	2	7	49
平成29年	1	3	0	2	3	7	4	4	0	1	2	1	28
平成28年	2	9	1	4	6	6	0	3	2	4	2	3	42

オンライン移住相談件数  
（8月24日現在）

	6月	7月	8月	合計
令和2年	1	10	3	14

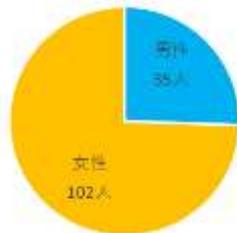
資料請求件数の推移（資料請求+オンライン移住相談）



令和2年 都道府県別  
資料請求件数上位5県（8月24日現在）



令和2年 男女別請求件数  
（8月24日現在）



令和2年 年代別請求件数  
（8月24日現在）



### ■オンライン移住相談利用者の傾向

- ・申込者全員が30～40代
- ・関東からの申込が半数以上（8/14件）次いで関西が多い（4/14件）
- ・元々奈良が好きで何度か訪れたことがある

### ■オンライン移住相談利用者の声

- ・話を聞いていくうちに観光目線から「住む」ことへの実感が増した
- ・職員の人柄の暖かさに触れることができ、魅力あふれる市であることを実感した
- ・知りたい情報に納得のいくまで返答いただき、とても有意義な時間となった
- ・調べても出てこないような情報を聞くことができた
- ・現時点の懸念点や知りたいことを、プラスαの情報で沢山回答いただけた

### ■9月12日（土）13時～「奈良市オンライン移住相談会」を実施予定（初めての土曜日開催）

土日祝の対応希望があることから、複数の移住希望者が参加する相談会を行い「仕事」「住まい」「地域交流」など質問が多かった情報を伝え、質問に応える機会を設定します。（後日、別途個別相談も可能）